

# 第 3 章

## 第 1 次計画の評価

### 1 評価の概要

平成 21 年に策定した「芦屋市健康増進・食育推進計画」は、芦屋市健康増進・食育推進計画策定に関わるアンケート調査などを基に、平成 21 年度から平成 24 年度を計画期間とする健康づくり施策に対する目標（指標と目標値）が設定されています。

「健康増進計画（すこやか親子 21 計画・いきいき暮らす元気計画）」「食育推進計画」のそれぞれの健康分野や取組の柱別に指標の達成状況などを整理し、取組を評価しました。

#### ◆評価方法

第 1 次計画の目標について、直近値（平成 24 年調査結果等）と策定当初値（平成 20 年調査結果等）を比較し、目標に対する達成状況について以下のとおり評価しました。

評価	基準
A	目標を達成した
B 1	目標は達成していないが改善した（改善率 10%以上）
B 2	変化がない（改善率±10%未満）
C	悪化している
—	評価困難（制度変更等により、現状値を把握できず評価不可能なもの等）

直近値は、主に、平成 24 年 4 月から 6 月実施の「3 歳児健診の食育アンケート調査」「芦屋市健康増進・食育推進計画策定に関わるアンケート調査」に基づくものです。なお、〔 〕内の数値は、国のデータを使用しています。

[評価算定式]：策定当初値から目標値設定の上げ幅を勘案して、策定当初値から直近値に対する改善率を算定

$$\text{改善率} = \frac{\text{直近値（平成 24 年調査結果等）} - \text{策定当初値（平成 20 年調査結果等）}}{\text{目標値} - \text{策定当初値（平成 20 年調査結果等）}} \times 100$$





### ◆評価結果一覧表

計 画	分 野	指 標 数	評 価					
			A	B 1	B 2	C	—	
健康増進計画	すこやか親子21計画	(1) 食生活と健康	3	0 (0%)	2 (67%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)
		(2) 母とこどもの健康の確保	5	1 (20%)	3 (60%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)
		(3) こどものこころのやさらかな発達の促進	3	0 (0%)	1 (33%)	0 (0%)	1 (33%)	1 (33%)
		(4) 思春期保健対策の充実	14	0 (0%)	8 (57%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (43%)
		(5) 小児医療の充実	7	0 (0%)	1 (14%)	2 (29%)	4 (57%)	0 (0%)
		小計	32	1 (3%)	15 (47%)	4 (13%)	5 (16%)	7 (22%)
	いきいき暮らし元気計画	(1) 健康を維持する正しい食習慣の確立と実践	2 (1)	0 (0%) (0) (0%)	1 (50%) (0) (0%)	0 (0%) (0) (0%)	1 (50%) (1) (100%)	0 (0%) (0) (0%)
		(2) 運動習慣の確立と実践	2	0 (0%)	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
		(3) こころの健康と安心の確保	3	0 (0%)	2 (67%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)
		(4) 禁煙と適正飲酒の推進	13	2 (15%)	2 (15%)	4 (31%)	5 (38%)	0 (0%)
		(5) 健康管理の支援	9	0 (0%)	7 (78%)	2 (22%)	0 (0%)	0 (0%)
小計		29 (28)	2 (7%) (2) (7%)	14 (48%) (13) (46%)	7 (24%) (7) (25%)	6 (21%) (6) (21%)	0 (0%) (0) (0%)	
食育推進計画	(1) 健康を維持する食習慣の確立と実践	7 (3)	1 (14%) (1) (33%)	2 (29%) (0) (0%)	2 (29%) (1) (33%)	1 (14%) (0) (0%)	1 (14%) (1) (33%)	
	(2) 食文化の継承	2	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	1 (50%)	
	(3) 食の選択力を養う	2	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	
	(4) 食育推進の取組	2	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	0 (0%)	1 (50%)	
	小計	13 (9)	2 (15%) (2) (22%)	2 (15%) (0) (0%)	3 (23%) (2) (22%)	2 (15%) (1) (11%)	4 (31%) (4) (44%)	
合計	74 (69)	5 (7%) (5) (7%)	31 (42%) (28) (41%)	14 (19%) (13) (19%)	13 (18%) (12) (17%)	11 (15%) (11) (16%)		

※上記一覧表は、計画・分野ごとに評価別の指標数と構成割合を示しています。

※指標数に対する評価の構成割合は小数点以下を表示していないため、割合の合計が100%にならない場合があります。

※2段で掲載している分野の下段の数値は、再掲を除いた指標数と構成割合です。

## 2 「すこやか親子21計画」の評価

すこやか親子21計画では、こどもに合った食事内容を知っている人の割合、3歳児健康診査の結果、むし歯のない幼児の割合、育児について相談相手のいる母親の割合を除き、それぞれの指標について一定の成果が得られました。特に、妊娠11週以下での妊娠届出者の割合が目標達成しています。なお、思春期保健対策の一部は、国からの直近値が未公表のため、評価できませんでした。

### (1) 食生活と健康

- ・朝食を食べる人の割合は、幼児、成人ともに増加しており、改善がみられます。
- ・こどもにあった食事内容を知っている人の割合は変化がみられません。

指標	策定当初値	目標値	直近値	評価
①朝食を食べる人の割合				
幼児	93.3%	100%	95.9%	B1
成人	83.8%	100%	89.3%	B1
②こどもにあった食事内容を知っている人の割合				
	81.6%	90%以上	81.1%	B2

### (2) 母とこどもの健康の確保

- ・妊娠11週以下での妊娠届出者の割合は目標値を大きく上回っています。
- ・妊娠中の喫煙率、飲酒率は大きく減少しており、改善がみられます。
- ・乳幼児健康診査の受診率は増加しており、改善がみられます。
- ・3歳児健康診査の結果、むし歯のない幼児の割合は変化がみられません。





指標	策定当初値	目標値	直近値	評価
①妊娠 11 週以下での妊娠届出者の割合				
	70.2%	80%以上	91.7%	A
②妊娠中の喫煙率				
	[ 7.3% ]	0%	1.4%	B 1
③妊娠中の飲酒率				
	[ 14.9% ]	0%	4.2%	B 1
④乳幼児健康診査の受診率				
	92.6%	95%以上	94.6%	B 1
⑤3歳児健康診査の結果、むし歯のない幼児の割合				
	87.7%	90%以上	87.7%	B 2

### (3) こどものこころのやすらかな発達の促進

- ・育児について相談相手のいる母親の割合は減少しています。
- ・育児参加する父親の割合は増加しており、改善がみられます。

指標	策定当初値	目標値	直近値	評価
①育児について相談相手のいる母親の割合				
	99.2%	100%	97.9%	C
②専門的な相談機関を知っている親の割合				
	43.3%	80%以上	—	—
③育児参加する父親の割合				
	93.4%	100%	94.2%	B 1

#### (4) 思春期保健対策の充実

- ・10代の喫煙率は、中学1年生の男子・女子、高校3年生の男子・女子ともに減少しており、改善がみられます。
- ・薬物乱用<sup>\*</sup>の有害性について正確に知っている小学生の割合は、急性中毒、依存症ともに小学6年生の男子・女子で増加しており、改善がみられます。
- ・性感染症<sup>\*</sup>を正確に知っている高校生の割合、避妊法を正確に知っている高校生の割合は、国の調査が未公表のため、評価できません。

指標	策定当初値	目標値	直近値	評価	
①10代の喫煙率					
中学1年生 男子	〔 3.2% 〕	0%	〔 1.5% 〕	B1	
女子	〔 2.4% 〕	0%	〔 1.1% 〕	B1	
高校3年生 男子	〔 21.7% 〕	0%	〔 12.8% 〕	B1	
女子	〔 9.7% 〕	0%	〔 5.3% 〕	B1	
②薬物乱用 <sup>*</sup> の有害性について正確に知っている小学生の割合					
急性中毒	小学6年生 男子	〔 53.3% 〕	100%	〔 70.9% 〕	B1
	女子	〔 56.2% 〕	100%	〔 77.1% 〕	B1
依存症	小学6年生 男子	〔 73.1% 〕	100%	〔 87.1% 〕	B1
	女子	〔 78.0% 〕	100%	〔 91.2% 〕	B1
③性感染症 <sup>*</sup> を正確に知っている高校生の割合					
性器クラミジア感染症	男子	〔 48.4% 〕	100%	未公表	—
	女子	〔 55.8% 〕	100%	未公表	—
淋菌感染症	男子	〔 19.9% 〕	100%	未公表	—
	女子	〔 20.1% 〕	100%	未公表	—
④避妊法を正確に知っている高校生の割合					
男子	〔 12.5% 〕	100%	未公表	—	
女子	〔 22.7% 〕	100%	未公表	—	

※策定当初値は、平成18年3月厚生労働省公表「健やか親子21」第1回中間報告書  
直近値は、平成22年3月厚生労働省公表「健やか親子21」第2回中間報告書





## (5) 小児医療の充実

- ・事故対策を行っている家庭の割合は、1歳6か月児で変化がみられない一方、3歳児では改善がみられます。
- ・かかりつけの小児科を持つ親の割合、休日・夜間の小児救急医療※機関を知っている人の割合は、1歳6か月児、3歳児ともに減少しています。
- ・6か月までにBCG接種を済ませている子の割合は、変化がみられません。

指標	策定当初値	目標値	直近値	評価
①事故対策を行っている家庭の割合				
1歳6か月児	〔 80.5% 〕	100%	〔 81.0% 〕	B2
3歳児	〔 74.7% 〕	100%	〔 78.1% 〕	B1
②かかりつけの小児科を持つ親の割合				
1歳6か月児	〔 86.3% 〕	100%	〔 83.8% 〕	C
3歳児	〔 86.4% 〕	100%	〔 84.6% 〕	C
③休日・夜間の小児救急医療※機関を知っている人の割合				
1歳6か月児	〔 87.8% 〕	100%	〔 84.2% 〕	C
3歳児	〔 89.9% 〕	100%	〔 85.3% 〕	C
④6か月までにBCG接種を済ませている親の割合				
	93.4%	100%	93.7%	B2

### 3 「いきいき暮らす元気計画」の評価

いきいき暮らす元気計画では、「禁煙と適正飲酒の推進」の分野において、たばこを吸っている人の割合（成人男性・女性）が目標達成しています。また、朝食を食べる人の割合、週3回以上の運動を行っている人の割合、ストレスを感じたときの相談相手がいる人の割合、ストレス解消法を持っている人の割合、成人女性の多量に飲酒する人の割合の指標について、一定の成果が得られ、改善傾向となっています。「健康管理の支援」における指標は全体に改善がみられ、今後も引き続き目標達成に向けた計画の推進が必要です。

#### (1) 健康を維持する正しい食習慣の確立と実践

- ・野菜の1日の摂取量を知っている人の割合は、減少しています。
- ・朝食を食べる人の割合は増加しており、改善がみられます。

指標	策定当初値	目標値	直近値	評価
①野菜の1日の摂取量を知っている人の割合				
	38.4%	50%以上	34.5%	C
②朝食を食べる人の割合〔再掲〕				
成人	83.8%	100%	89.3%	B1





## (2) 運動習慣の確立と実践

- ・週3回以上の運動を行っている人の割合は、成人男性、成人女性ともに増加しており、改善がみられます。

指標	策定当初値	目標値	直近値	評価
①週3回以上の運動を行っている人の割合				
成人男性	33.4%	50%以上	35.2%	B 1
成人女性	24.7%	50%以上	28.2%	B 1

## (3) こころの健康と安心の確保

- ・睡眠による休養を十分にとれていない人の割合は、変化がみられません。
- ・ストレスを感じたときの相談相手がいる人の割合、ストレス解消法を持っている人の割合は増加しており、改善がみられます。

指標	策定当初値	目標値	直近値	評価
①睡眠による休養を十分にとれていない人の割合				
	19.7%	15%以下	20.1%	B 2
②ストレスを感じたときの相談相手がいる人の割合				
	92.5%	100%	93.7%	B 1
③ストレス解消法を持っている人の割合				
	88.5%	100%	92.5%	B 1



#### (4) 禁煙と適正飲酒の推進

- ・たばこを吸っている人の割合は、成人男性、成人女性ともに減少しており、目標値を達成しています。
- ・副流煙\*が及ぼす健康への影響を知っている人の割合は減少しています。
- ・喫煙が及ぼす健康への影響について知っている人の割合は、肺がんで増加していますが、気管支炎、心臓病、妊娠に関する異常で減少しています。一方、ぜんそく、脳卒中、胃潰瘍では変化がみられません。
- ・多量に飲酒する人の割合は、成人男性で増加している一方、成人女性で減少しており、改善がみられます。

指標	策定当初値	目標値	直近値	評価
①たばこを吸っている人の割合				
成人男性	25.0%	20%以下	19.8%	A
成人女性	7.0%	5%以下	3.8%	A
②副流煙*が及ぼす健康への影響を知っている人の割合				
	84.0%	100%	82.4%	C
③喫煙が及ぼす健康への影響について知っている人の割合 ( )は喫煙者				
肺がん	94.8%	100%	95.3% (96.3%)	B 1
ぜんそく	64.6%	100%	63.9% (63.7%)	B 2
気管支炎	72.2%	100%	66.5% (71.9%)	C
心臓病	47.6%	100%	40.1% (54.8%)	C
脳卒中	38.0%	100%	37.1% (59.3%)	B 2
胃潰瘍	18.8%	100%	18.0% (29.6%)	B 2
妊娠に関する異常	61.6%	100%	56.5% (52.6%)	C
歯周病	21.7%	100%	26.3% (43.0%)	B 2
④多量に飲酒する人の割合				
成人男性	3.6%	2.6%以下	3.9%	C
成人女性	1.2%	0.2%以下	1.0%	B 1





## (5) 健康管理の支援

- ・適正体重<sup>\*</sup>を維持している人の割合, 特定健康診査<sup>\*</sup>・特定保健指導<sup>\*</sup>を知っている人の割合, がん検診を受けている人の割合, 定期的な歯科健診を受診する人の割合は, いずれも増加しており, 改善がみられます。
- ・毎年健康診査・定期健康診断を受けている人の割合は, 成人男性, 成人女性ともに増加しており, 改善がみられます。
- ・60歳代で24本以上自分の歯を有する人の割合は, 変化がみられません。
- ・歯間部清掃用具<sup>\*</sup>を使用する人の割合は, 50歳代で増加しており, 改善がみられますが, 40歳代では変化がみられません。

指標	策定当初値	目標値	直近値	評価
①適正体重 <sup>*</sup> を維持している人の割合				
	69.6%	75%以上	72.3%	B 1
②毎年健康診査・定期健康診断を受けている人の割合				
成人男性	60.9%	75%以上	64.4%	B 1
成人女性	44.2%	75%以上	51.7%	B 1
③特定健康診査 <sup>*</sup> ・特定保健指導 <sup>*</sup> を知っている人の割合				
	51.4%	80%以上	61.2%	B 1
④がん検診を受けている人の割合				
	28.5%	50%以上	39.3%	B 1
⑤60歳代で24本以上自分の歯を有する人の割合				
	44.3%	50%以上	44.5%	B 2
⑥定期的な歯科健診を受診する人の割合				
	44.8%	60%以上	49.9%	B 1
⑦歯間部清掃用具 <sup>*</sup> を使用する人の割合				
40歳代	24.3%	50%以上	22.3%	B 2
50歳代	24.9%	50%以上	36.0%	B 1

## 4 「食育推進計画」の評価

食育推進計画では、朝食を食べる人の割合、食事バランスガイド※を知っている人の割合（成人）、ひょうご“食の健康”運動※に取り組む食の健康協力店の店舗数について目標達成もしくは改善傾向にあり一定の成果が得られました。一方、野菜の1日の摂取量を知っている人の割合や、行事食※を味わう人の割合（成人）について、減少していることから、食を通じた健全な生活の実践が求められています。

### （1）健康を維持する食習慣の確立と実践

- ・朝食を食べる人の割合は、幼児、成人ともに増加しており、改善がみられます。
- ・食事バランスガイド※を知っている人の割合は、成人で増加しており、目標を達成しています。児童は未調査となっています。
- ・野菜の1日の摂取量を知っている人の割合は、減少しています。
- ・こどもにあった食事内容を知っている人の割合、メタボリックシンドローム※を知っている人の割合は変化がみられません。

指標	策定当初値	目標値	直近値	評価
①朝食を食べる人の割合〔再掲〕				
幼児	93.3%	100%以上	95.9%	B 1
成人	83.8%	100%以上	89.3%	B 1
②食事バランスガイド※を知っている人の割合				
児童	72.5%	90%以上	—	—
成人	66.1%	70%以上	70.1%	A
③こどもにあった食事内容を知っている人の割合〔再掲〕				
	81.6%	90%以上	81.1%	B 2
④野菜の1日の摂取量を知っている人の割合〔再掲〕				
	38.4%	50%以上	34.5%	C
⑤メタボリックシンドローム※を知っている人の割合				
	82.8%	90%以上	83.1%	B 2





## (2) 食文化の継承

- ・行事食<sup>\*</sup>を味わう人の割合は、成人で減少しています。児童は未調査となっています。

指標	策定当初値	目標値	直近値	評価
①行事食 <sup>*</sup> を味わう人の割合				
児童	82.1%	100%以上	—	—
成人	84.0%	100%以上	80.1%	C

## (3) 食の選択力を養う

- ・ひょうご“食の健康”運動<sup>\*</sup>に取り組む食の健康協力店の店舗数は、増加しており、目標を達成しています。
- ・学校給食における県産品利用割合は未調査となっています。

指標	策定当初値	目標値	直近値	評価
①ひょうご“食の健康”運動 <sup>*</sup> に取り組む食の健康協力店の店舗数				
	78 店舗 (平成 20 年 12 月末現在)	90 店舗	113 店舗 (平成 24 年 3 月現在)	A
②学校給食における県産品利用割合				
	29.6%	40%以上	—	—

## (4) 食育推進の取組

- ・食育という言葉も意味も知っている人の割合は、成人では変化がみられません。児童では未調査となっています。

指標	策定当初値	目標値	直近値	評価
①食育という言葉も意味も知っている人の割合				
児童	20.9%	70%以上	—	—
成人	49.3%	70%以上	48.5%	B 2